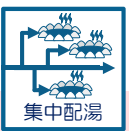




洞爺湖温泉

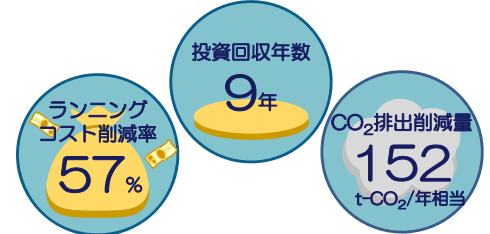


概要

地熱構造試錐井から高温地熱水（約135℃）を揚湯し、バイナリー発電や観光素材（温泉卵）の製造に利用している。バイナリー発電で生成された電力は、揚湯ポンプの電力に利用することで人工自噴を行っている。

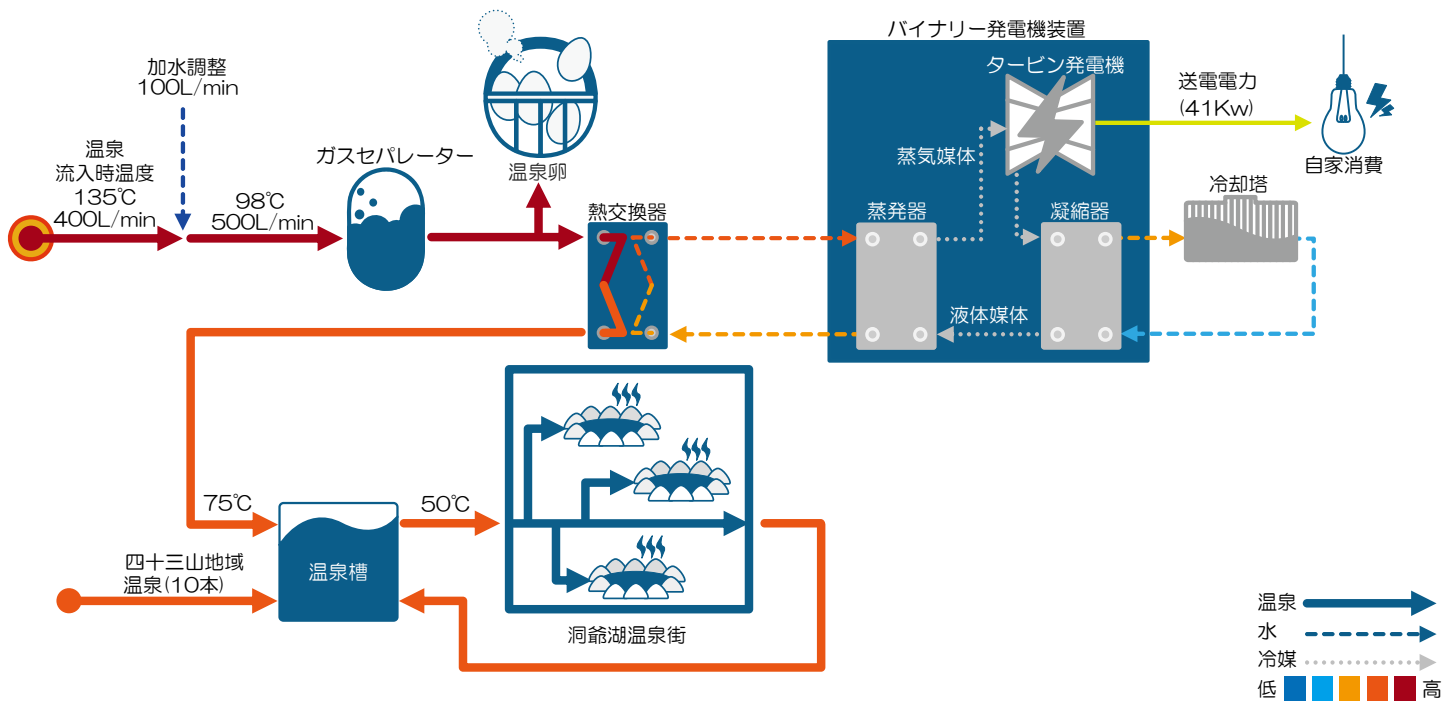
なおバイナリー発電後の温泉水は、他の源泉から汲み上げられた温泉と一緒に温泉貯湯槽へと集められ、その後洞爺湖温泉街（ホテル、旅館、土産店、足湯、手湯）へ配湯されている。

所在地	北海道虻田郡洞爺湖町
泉質	塩化物泉
温泉温度	135℃
利用温度	98℃
利用温泉	新規温泉（一部）
総事業費	5億5,000万円（一部補助金あり）



※ランニングコスト削減効果、CO₂排出量削減効果、投資回収年数は、ヒアリング先による推定値（ボイラー使用分削減による効果）

主な温泉熱利用方法のシステム図



導入の流れ

実施体制

